

平成27年度 西東京市公民館 事業評価表

※ 評価欄 A～D

A ・・十分達成している
B ・・概ね達成している
C ・・今後の努力が必要
D ・・達成できていない

【目的】 西東京市公民館事業評価は、公民館が持つ機能の充実を目指し、事業の改善を図ることを目的とする。

平成27年度 西東京市公民館 事業方針		西東京市公民館事業評価の指標
【基本方針】 西東京市公民館は、地域住民の生活課題や地域課題を見据え、効果的な学習機会を提供し、市民の主体的な学びを支援することにより、地域づくりにつなげる視点を持って事業を実施していきます。 人と人とのつながりを大切にして地域社会の活性化を図るために、住民が学び・育ち、文化創造の担い手となって活動や交流ができる場として、市内にある6つの公民館が十分に機能するように運営していきます。 また、障がい者、外国人、子育て中の保護者などの社会的に制約を受けやすい人へ配慮し、誰もが学び集うことができるように、環境の整備に力を注ぎ施設の充実を図ります。 このようにして、市民が、公民館を拠点に、参加と自治を原則とした文化を創り上げていくことをめざした事業展開を推進していきます。	【重点事業】 1、開かれた環境づくり(環境) 2、地域人材の発掘と支援(人材) 3、各館の特色を活かした事業展開(特色) 4、共助につながる防災拠点づくり(防災) 5、利用者懇談会の充実(利用懇)	①「西東京市公民館の事業評価のあり方について」に対する答申(平成23年4月27日)に基づき、公民館事業全体の総合的な評価を行う。 ②数値のみでは表せない視点を盛り込んだ実績も積極的に評価に取り入れる。 ③評価内容は柔軟な評価を目標にして、定期的に見直しを行う。(見直しは検討会議を開催する) ④事業評価の内容を公開する。 ⑤評価結果は今後の公民館事業計画及び運営に反映させる。 ⑥持続可能な社会づくりの観点で評価する。 ⑦市民本位の公民館経営における事業展開を適切に評価する。

	項目	評価区分	評価内容	実績指標	実績	公民館(1次)評価		公民館運営審議会(2次)評価	
						評価	評価及び課題 [◇・・評価 ◆・・課題]	評価	評価及び課題 [◇・・評価 ◆・・課題]
(1)	学級・講座	個別事業	【学びの達成や発展】 達成感や学習者の価値観・生活行動の変容、新たな学びへのきっかけや継続につながる事業が展開できたか 相互に学び合う関係性ができたか	・学びの達成 ・課題の発見や気づき ・自己の意識や能力の変化 ・新たな学びへのきっかけ ・相互学習	・学びの達成51件 ・課題の発見や気づき71件 ・自己の意識や能力の変化57件 ・新たな学びへのきっかけ47件 ・相互学習52件	B	◇多くの事業で学びの達成と課題の発見や気づきが確認され、学びの継続につなげることができた。 ◆さらに多くの事業で、学習の広がりや継続につながる支援を図りたい。	A	◇公民館事業をきっかけに、学びの継続がみられ、総じて受講生の達成感の高さがうかがえる。 ◆さらに多くの学習機会を広げるために、広報や担当者の働きで新たな学びのきっかけが増えることを期待したい。
			【地域課題学習の提供・学習ニーズの反映】 地域や市民の実態、学習ニーズを反映した事業の実施に努めたか 市民が参加しやすい工夫を凝らしたか	・地域課題の取り上げ ・市民ニーズ反映の内容 ・新たな利用者の開拓 ・教育計画の反映	・地域課題の取り上げ27件(29.7%) ・市民ニーズ反映の内容36件(39.6%) ・新たな利用者の開拓52件(57.1%) ・教育計画の反映67件(73.6%) ※全事業数 91件	B	◇地域課題や市民ニーズを反映した事業は全館で実施した。新たな利用層の開拓にも意識的に取り組んできた。 ◆地域課題をより積極的に掘り起こす必要がある。	B	◇新たな利用層開拓への取り組みや、全館で地域課題や市民ニーズを反映した事業実施。 ◆地域課題の積極的な掘り起こしに担当者の働きに期待したい。
			【学習者の視点】 学習者の視点に立った、適切な事業実施ができたか	・アンケートによるプログラム・講師・運営に対する学習者の満足度	学習者の声 (A:満足 B:ほぼ満足 C:やや不満 D:不満) プログラムの満足度／AとBが合わせて99.1% 講師の満足度／AとBが合わせて99.3% 運営の満足度／AとBが合わせて98.4%	A	◇アンケート結果や学習者の声から、概ね満足の評価を得ている。 ◆参加者の評価を分析し、これからの計画に適切につなげていくことが課題である。	A	◇アンケート結果の高い満足度は高く評価できる。 ◆アンケートの分析、さらにアンケートに出ない学習者の声をどう拾い上げ次に活かせるかが課題であり、今後の取り組みに期待したい。
			【プロセス重視の運営】 プロセス重視の事業企画・運営に努めたか 市民の主体性を尊重し、自治能力の向上につながる学習の支援ができたか	・実行委員会、準備会 ・参加型の学習(グループワーク、ワークショップ等)の工夫 ・学習成果の発表	・実行委員会8件／準備会10件 ・参加型の学習の講座実施数62件 ・学習成果の発表24件	B	◇参加型学習は多くの講座で実施した。 ◆参加者の個性を生かした実行委員会の運営が望まれる。	B	◇参加型学習の講座は前年度より多く実施され、一定の評価ができる。 ◆実行委員会の主役は参加者であるが、アシスト等運営での職員の的確な働きを高めるため、研修の機会を期待したい。
			【協働・連携の視点】 協働や連携の視点で事業を企画・実施することができたか	・他部署、他課との協働・連携 ・他教育施設との協働・連携 ・地域NPO等との協働・連携 ・地域の人材との協働・連携	協働・連携事業55件	B	◇地域の団体、人材への働き掛けにより、多くの事業を連携して運営できた。連携の手法については検証していきたい。 ◆日常的に課題を共有できる関係づくりのため相互の情報共有が望まれる。他部署・他課、学校との連携には多くの課題がある。	B	◇地域の団体、人材との連携で多くの事業が行われ評価できる。 ◆他部署・他課、学校との連携進めるうえで、相互の情報発信、課題等の共有を深めるとともに、公民館固有の機能や役割を明確に発信していくことを期待したい。
			【だれもが学べる学習機会の提供】 社会的に制約を受けやすい人への配慮も含め、幅広い対象に向けて、学習の機会を提供することができたか	・青少年対象・親子対象・子育て中の保護者対象・高齢者対象・障がい者対象・外国人対象などへ向けた事業実施 ・学習支援保育事業(※1)の実施	青少年対象17件／障がい者対象5件／親子対象14件／成人対象42件／高齢者対象4件／子育て中の保護者対象5件／子育て中の保護者対象(学習支援保育)6件／男性対象1件／男性対象(学習支援保育)0件／女性対象0件／女性対象(学習支援保育)7件／外国人対象0件／外国人対象(学習支援保育)2件／多世代交流6件／視聴覚事業5件／地域交流事業16件	B	◇幅広い世代に向けた事業を実施している。しかし、取り組みや提供が少ない世代層もある。また、障がいを持つ人への理解に向けた事業に引き続き努めてきた。 ◆幅広い層の多様な学習ニーズに応えるために、6館が協力して、計画的に事業の企画・実施を行うことが必要である。	B	◇障がいを持つ人への理解に向けた継続的な事業や幅広い世代への学習機会提供は高く評価できる。 ◆多様なニーズに応えるため、6館が協力して、計画的に事業の企画・実施を行うことで、幅広い層の多様な学習ニーズに応えられることを期待したい。
			【学びの課題】 多様な地域課題や社会的課題に対して、解決に向けた学習の機会を提供することができたか	子育てに関する事業、環境に関する事業、人権、平和に関する事業、男女共同、生きがい、仲間づくりに関する事業等の実施	子育て20件／家庭教育12件／労働6件／貧困問題7件／高齢者問題7件／防災9件／障がい者4件／男女共同参画3件／人権15件／平和8件／環境9件／健康8件／国際理解8件／まちづくり14件／メディアリテラシー0件／食育12件／仲間づくり44件／生きがいづくり19件／その他6件(学習支援2件、伝統文化1件/哲学1件/古典1件/コミュニケーション1件)	B	◇多様な学習課題を取り上げて事業展開しているが、取り組めていない分野もある。 ◆市民ニーズに即した学習課題を取り上げていくために、6館が協力して、計画的に事業の企画・実施を行うことが必要である。	A	◇多彩なジャンルでの事業展開は高く評価できる。 ◆6館が協力して、計画的に事業の企画・実施を行うことで、更なる市民ニーズに応えられることを期待したい。

		重点事業	【重点事業に対する取り組み】 重点事業の成果につながる事業を企画・実施することができたか [重点事業: 1、2、3、4]	1、開かれた環境づくり(環境) 2、地域人材の発掘と支援(人材) 3、各館の特色を活かした事業展開(特色) 4、共助につながる防災拠点づくり(防災)	1、開かれた環境づくり(環境)46件 2、地域人材の発掘と支援(人材)34件 3、各館の特色を活かした事業展開(特色)37件 4、共助につながる防災拠点づくり(防災)9件 (他に利用者懇談会での講話、避難訓練など)	B	◇全館で重点事業に意識的に取り組んだ。 ◆「開かれた環境づくり」については、内容が整理されていないため、課題がわかりにくい。重点事業については、今後、十分な検討を行う必要がある。	B	◇災害への関心が高い中、防災関係の事業が行われたこと、重点事業が全館で取り組まれたことが高く評価できる。 ◆「開かれた環境づくり」についての明確な方向性を含め、重点事業への更なる取り組みに期待したい。
--	--	------	--	---	---	---	--	---	---

	項目	評価区分	評価内容	実績指標	実績	公民館(1次)評価		公民館運営審議会(2次)評価	
						評価	評価及び課題 [◇・・・評価 ◆・・・課題]	評価	評価及び課題 [◇・・・評価 ◆・・・課題]
(2)	施設管理	環境整備	【安全・安心のための管理と運営】 市民が利用しやすい教育施設の計画的な管理・運営を行う	・施設改修 ・定期点検 ・バリアフリー ・危機管理 ・個人情報の保護	・エレベーター改修工事の実施(谷戸) ・防火シャッター改修工事の実施(柳沢) ・外壁打診検査の実施(柳沢・谷戸) ・エレベーター、AEDの保守点検:年1回実施 ・消火器の点検:年2回実施 ・危機管理マニュアル(不審者、クレーム)の整備 ・個人情報の適切な管理	B	◇各公民館は、施設や設備の老朽化に伴い、計画的かつ定期的に修繕、工事を実施した。 ◆利用者の安全安心を確保するために、今後も計画的に修繕や改修計画に取り組む必要がある。	A	◇老朽化する公民館も見受けられるが、それへの対応はきめ細かく実施されている。 ◆市民からすれば、安全安心もさることながら、見栄えの良い改修計画や工夫が各館に施され、市民への親しみを高める工夫に取り組むことを期待したい。
			【学習環境としての整備】 市民の学習権を保障する施設として、エコの観点に配慮しつつ、利用者が快適に使える環境整備を行う	・学習支援としての備品、貸出し物品の定期点検、整備 ・障がい者や高齢者、幼い子を持つ母親等に優しい施設環境の整備(エレベーター、トイレ、授乳スペース等) ・節電や省エネ等の適切な実施 ・団体連絡箱の適切な提供	・備品定期点検を年1回実施 ・各部屋の状況確認、貸出物品の整備・修繕を適切に行っている ・電灯の間引き、扇風機の導入等で計画的に適切な節電を進めた ・団体連絡箱利用の更新(年1回)を行っている ・求めに応じて、印刷室を適宜提供した	B	◇定期的に備品や設備の点検を実施している。 ◆限られた予算の中で、計画的な備品購入や修繕の実施が必要である。 利用者の理解を得ながら、市民活動に支障のない範囲で、節電に努めていく必要がある。	B	◇備品・設備の管理・点検は定期的 to 実施され、スムーズな利用が可能となっている。 ◆団体連絡箱の利用には、より利用しやすわかりやすさを求めたい。またハンディのある人たちへの配慮も、より自覚的に進められることを期待したい。
			【情報収集・発信の場】 情報収集・発信の場として十分に機能するように、ロビーを中心に計画的な管理・整備に努める	・館内掲示箇所の整備 ・公民館だよりの館内整理 ・定期刊行物の整理 ・チラシ、会員募集等の随時整理	・ロビーや館の掲示箇所を適切に活用している ・公民館だよりの定期刊行物などを見やすくストックしている	B	◇館内掲示板、チラシ配置などの管理・整備に努めた。 ◆チラシの内容によってジャンル分けをするなど、さらに見やすい配置に努める必要がある。	B	◇ロビーのレイアウトは、現在の状況からして容易ではないものの工夫が凝らされている。 ◆チラシの量が多く、配置や見やすさをさらに努められることを求めたい。
		防災	【防災】 地域防災力の向上と防災を意識した施設管理に努める	・防災訓練の実施 ・防災対応マニュアルの作成 ・防災備品の管理 ・帰宅困難者一時滞在施設としての整備	・防災訓練の全館実施 ・意識向上のポスター等の掲示 ・防災対応マニュアルの全館作成 ・防災備品の点検 ・市の帰宅困難者一時滞在施設訓練に参加	B	◇各公民館で災害に関する訓練及び事業を実施した。全公民館の危機管理マニュアルを整備した。一時滞在施設としてのマニュアルについては作成中である。 ◆関連部署、図書館及び市民との連携強化を今後も深めることが課題である。全館合同での災害に関する訓練を実施していく必要がある。	A	◇災害に関する訓練及び事業を実施したことは、大いに評価できる。危機管理マニュアルの整備も意義深い。 ◆近隣市民との連携強化が課題である。
		重点事業	【重点事業に対する取り組み】 重点事業の成果につながる取り組みを実施することができたか [重点事業: 4]	4、共助につながる防災拠点づくり(防災)	上記(2)施設管理の評価区分「防災」の欄を参照				

	項目	評価 区分	評価内容	実績指標	実績	公民館(1次)評価		公民館運営審議会(2次)評価	
						評価	評価及び課題 [◇・・評価 ◆・・課題]	評価	評価及び課題 [◇・・評価 ◆・・課題]
(3)	窓口業務	広報	【公民館だより】 公民館だよりを通して、市民に公民館や地域に関する情報を発信する	・公民館だよりの定期発行 ・編集室会議、担当者会議による内容の充実	・年12回の公民館だよりの発行 ・編集室会議、担当者会議を毎月1回実施	B	◇記事内容の充実が図られた。 ◆よりわかりやすく読みやすい記事づくりと、多くの市民に読まれるような工夫が必要である。	B	◇記事内容に工夫が見られ、充実している。 ◆一面の記事には、公民館に関心が寄せられるような内容の記事掲載が望ましいと思われる。
			【幅広い広報】 事業に関しての広報を、公民館だより以外の様々な手段や媒体を利用して行う	・チラシ、ポスターの掲示・郵送による広報 ・公民館の刊行物による広報(各公民館のニュース等) ・ホームページを有効活用した広報 ・声かけや外部へ出向いての説明など	・ポスター、チラシによる広報を実施 ・ホームページにアップした事業75件 ・武蔵野大、市内小中高校等の教育施設への広報36件、その他外部施設への広報30件	B	◇ポスター、チラシ、ホームページ、声かけ、外部施設への広報、出向いての説明など、幅広く広報されている。 ◆ホームページへ地域課題に取り組んだ講座等の様子を写真付きで掲載するなど、公民館のイメージアップのため積極的に取り入れる必要がある。新しいポスター掲示先・チラシ配置先の開拓が必要である。	A	◇ホームページの活用は広報媒体として有効であり、その活用を広められていることは、幅広い層へ関心を高め、かつ経費節減の面からも評価される。 ◆せっかく工夫凝らしたポスター・チラシ等の掲示板への掲載はいかされ、メインとするものを目に留まるよう掲載されているが、これらが手に取って広める工夫は、もっと探究されてよい。
		学習相談	【学習情報整理】 学習情報の収集・整理・共有化を行い、市民の学習に繋がるような情報提供を行う	・団体一覧の更新(年1回) ・団体の登録の更新(5年に1回) ・各団体の館内掲示物の整理や保管	・団体の定期的な活動情報の更新(年1回) ・団体の登録内容の詳細な確認(H30年度予定) ・適切な学習情報を市民に提供する準備をした ・サークル紹介冊子作成・配布 (芝久保・谷戸・ひばり・駅前) ・サークル紹介用ファイル設置(田無)	B	◇定期的な活動情報の更新を行い、日常的に学習情報の整理に努めた。 ◆柳沢公民館でも配布・閲覧用のサークル紹介冊子の作成に取り組む必要がある。	B	◇ボリュームのある情報ゆえ、その整理の配慮がなされ、サークル紹介冊子の作成の拡充に努められたことは評価できる。 ◆整理された情報を、より広く知っていたけらるような周知方法の検討が課題である。
			【窓口対応における学習支援】 市民の学習の質を高め、継続的なものにすることができるよう学習相談を実施する	・窓口における学習相談や電話による学習の情報提供 ・学習活動を行う中で、障害になるような問題や悩みの傾聴とその解決方法の助言をする	・窓口における学習相談や電話による学習の情報提供326件(6館総計)	B	◇窓口における学習相談や電話による学習の情報提供は、適宜行われている。 ◆自主活動団体の活動継続に関する相談や、公民館活動団体への活動支援に取り組む必要がある。	B	◇相談件数も増えてきており、市民と公民館がより近くなってきたことは評価できる。 ◆公民館活動団体への支援活動に関するシステムを作ることによって、支援活動の幅がひろがるのではと思われるのでその検討が望まれる。
		対応力	【対応力の向上】 市民本位の視点に立った対応力向上のために職員間の知識・情報の共有に努め、職員研修を行う	・職員研修の実施 ・担当者会議の実施 ・職員情報共有の打ち合わせ実施	・定期的な職員研修4回 ・各担当者会議 (保育担当12回、市民企画担当9回、公民館だより担当15回、事業計画担当0回、事業評価担当5回、障がい者担当4回、防災担当2回、団体情報担当2回)	B	◇職員研修を定期的に行っており、公民館職員として一定レベルの知識には到達できている。 ◆職員研修の更なる充実が必要である。	B	◇職員研修も定期的に行われており、対応力としては十分評価できる。 ◆視点を変えた研修項目の追加など、研修方法に若干工夫も求められる。
		ロビー活用	【ロビーの有効活用】 ロビーでの事業を通して、公民館事業の情報を市民に発信すると共に、学びのきっかけとなる場の提供を行う	・公民館主催のロビー企画・展示 ・サークルや市民によるロビー企画・展示 ・主催事業報告の展示 ・いこいや交流の場として提供	・公民館主催のロビー企画・展示72件 ・サークルや市民によるロビー企画・展示101件	B	◇全館でロビーを活用した企画・展示が実施されるようになり、公民館に立ち寄った市民に公民館での活動を伝える有効な手段となっている。 ◆全館でさらにロビーを活用した事業報告等にも取り組んでいく必要がある。	B	◇ロビー企画も大幅に増加し、これまで以上に市民の憩いの場となりつつあることは評価される。 ◆公民館の共通したイメージを市民にもっていただけるよう、全館共通のロビー企画(内容、実施時期など)を実施するなどの取り組みも望まれる。できれば、全館、同じ内容で同じ時期に実施するなどの取り組みも検討してはどうかと思われる。
		重点事業	【重点事業に対する取り組み】 重点事業の成果につながる取り組みを実施することができたか [重点事業:1]	1、開かれた環境づくり(環境)	上記(3)窓口業務の評価区分「広報」の欄を参照				

	項目	評価区分	評価内容	実績指標	実績	公民館(1次)評価		公民館運営審議会(2次)評価	
						評価	評価及び課題 [◇・・・評価 ◆・・・課題]	評価	評価及び課題 [◇・・・評価 ◆・・・課題]
(4)	長期的視点での人づくり	単年度学習成果	【発掘・紹介】 地域に貢献している団体・人の発掘・紹介を行う	・公民館だよりでの団体紹介 ・公民館だよりでの人物紹介	・公民館だよりで団体紹介6件 ・公民館だよりで人物紹介15件	B	◇公民館だよりで団体や人物紹介を積極的に行った。 ◆引き継ぎ公民館だよりで地域の人材資源の発掘・紹介につなげる活動に取り組む必要がある。	B	◇団体や人物紹介を積極的に行ったことは評価できる。 ◆人材資源の発掘については公民館の中にとどまらず地域のお祭りや行事に積極的に出かけて行くことも必要である。
			【学習の継続と成果】 事業参加者の学習活動の総括・学習成果の発表・学習の継続を支援する	・記録誌、記念誌の発行 ・主催講座からサークル化した団体数	・サークルの立ち上げ14団体 ・公民館保育室活動の記録誌発行:年1回 ・主催講座の記録誌発行3冊 ・まつり記念誌発行(田無、芝久保、谷戸)	A	◇講座終了後、多くのサークルが発足し、記録誌、記念誌も発行された。 ◆サークルからの学習継続・成果発表の方法等の相談に応じるなど、継続して学習を支えていくが必要である。	A	◇市民のサークルへの意欲を促し、自立したサークル活動の発足につながっていることは評価できる。 ◆記録誌を残すだけではなく発表・共有の場を増やすことも必要である。
		経年学習成果	【育成と活用】 公民館での長期的な活動を通して、学びを地域に発信・還元する人材の育成・活用を行う	・学びを通して、地域活動を実践する人材の育成と活用 ・地域交流事業等の実行委員会 ・その他、能動的(積極的)に地域活動に関わる人材の育成 ・学習支援保育(※1)の実施	・学習支援保育利用の自主サークル22団体 ・まつり等実行委員会8件 ・活動団体のメンバーが講師として協力する講座の企画事業15件 ・学習支援保育付き事業15件	B	◇実行委員会による地域交流事業(まつり等)を実施している。活動団体への講師依頼など、地域人材の活用に取り組んだ。 ◆かかわる市民にとって、実行委員会が、学習活動・学びの場となるようサポートしていく必要がある。	B	◇事業実施までの実行委員会が学びの場となっていることは評価できる。 ◆毎回同じメンバーでなく、多様な人が集い実行委員会が運営されることを期待する。
			【学びの還元】 公民館で長期的な活動を行う市民・団体を地域資源として活用するとともに、その学習成果の地域還元を支援する	・地域交流事業の実施 ・フェスティバル及びまつりの実施 ・公民館ロビーでの展示・発表 ・記録誌の活用 ・学習成果の振り返りのインタビュー、座談会等の実施 ・市民企画事業の実施(※2)	・谷戸公民館30年記念誌発行 ・フェスティバルの実施(柳沢、田無、ひばりが丘、駅前) ・まつりの実施(田無、芝久保、谷戸) ・ロビーコンサートの実施(柳沢、田無、ひばりが丘) ・市民団体による学習の成果発表数101件 ・公民館の学習に記録誌を活用 ・市民企画事業の実施45件	B	◇学習成果を発表する場として、全館で地域交流事業として「まつり」「フェスタ」を実施した。ロビー活用の発表も、充実してきた。 ◆公民館活動の検証のため、インタビューや座談会などに取り組みたい。	B	まつりやコンサート等継続的に実施され定着してきたことは評価できる。公民館活動検証のためのインタビューや座談会に期待する。
		市民参加	【市民参加の推進】 市民本位の公民館運営の実現のために、館の運営及び事業の企画・運営への市民参加の保障に努める	・公民館運営審議会の開催(月1回) ・市民参加による公民館だよりの作成 ・事業実施のための準備会開催 ・利用者懇談会の開催	・公民館運営審議会の開催12回 ・公民館だより編集室会議開催(市民スタッフの参加)13回 ・事業実施のための準備会10件 ・全館で年2回の利用者懇談会を定期開催 ・対象別利用者懇談会の開催(陶芸:柳沢・芝久保、調理:田無、茶道:ひばりが丘)	B	◇各館で事業実施のため、実行委員会や準備会により、市民と協働で企画・実施した。公運審や利用者懇談会等で出された公民館運営に関する要望・意見等に基づいて改善に努めた。 ◆公運審や利用者懇談会での意見・要望等の利用者の声をより一層反映させる運営に努める。主催事業の企画にあたっては、準備会の実施に積極的に取り組む必要がある。	A	実行委員会や準備会は実践できている。積極的な声掛けで新しい人材を取り込む工夫をのぞむ。
		地域づくり	【住民自治力向上の支援】 住民主体の課題解決につながる地域づくりを支援する	・市民企画事業の実施 ・利用者連絡会の設置	・市民企画事業の実施45件 ・利用者連絡会の設置(田無・芝久保)	B	◇多種・多様な課題を解決するための学習機会を提供する自主グループの活動を支援するために、市民企画事業を実施している。田無・芝久保の両館では、利用者連絡会と定期的に意見交換を行っている。 ◆市民の自治力向上を支援するような、市民の公民館運営への参加のしくみを構築していく必要がある。	B	◇現代的課題に向き合う学習機会の提供や、市民企画事業の実施は、単に受講生だけでなく、市民にたいし広く社会問題をの解決に向けた意識啓発につながり、自治的力量的の形成に評価できる。 ◆市民の自治は、市民相互の関係づくりや市民と広く行政との関係づくりに積極的にすすめることを期待する。
			【届ける社会教育】 公民館の施設にとどまらず、市内全域で社会教育事業を実施することに努める	・学校、教育施設、市施設の公民館に対する理解を深めるための取り組み ・他施設を利用した主催事業の実施 ・公民館だよりを通して、社会教育的な課題の提供	・学校などの教育施設、その他外部施設における公民館活動の紹介3件 ・他施設を利用した主催事業の実施2件 ・公民館だよりの1面特集や連載コーナーで、地域課題等を取り上げた	B	◇外部施設での公民館活動の紹介3件、事業実施2件と十分とは言えない。また、公民館だよりの1面では、地域課題を取り上げた特集や、市民が読むことで公民館活動への参加となるような地域情報を提供する紙面づくりに取り組んだ。 ◆公民館から遠い地域での主催事業や、公民館の施設機能では実施できない事業を、他の施設を利用し事業実施により取り組む必要がある。	B	◇公民館だよりで地域情報や地域課題を提供する紙面づくりは評価できる。 ◆学校、生徒会、PTAなどとの関係作りが不十分と思われる。事業の共催などができる関係づくりが望まれる。
		重点事業	【重点事業に対する取り組み】 重点事業の成果につながる取り組みを実施することができたか [重点事業:5]	5.利用者懇談会の充実(利用懇)	・参加人数 10月・・・122人(6館合計) 3月・・・367人(6館合計) ・内容・運営 企画講座/講話/グループ討議等 ・報告:利用者懇談会ニュース等の発行(田無・芝久保・ひばり・駅前)	B	◇講話やグループディスカッションなどを取り入れ内容も充実し、参加人数も増加傾向にある。 ◆参加団体の拡充、(より多くの利用団体の参加を目指す)未参加団体(人)への情報提供、意見聴取。	B	◇各館が工夫したことで参加人数が増加したことは評価できる。 ◆参加した利用者同士の交流や職員との対話が不十分と思われる。職員の発信力に期待する。

■※1. 学習支援保育とは…乳幼児を育てている市民に対して、多様な学習機会を保障し、出会いと学びあいの機会を生み出すような公民館の公費保育制度です。親子の学びと成長を継続的に支え、学びの成果を地域へ発信・還元できるように支援します。

■※2. 市民企画事業とは…市内の自主グループが企画した事業を一定の審査の上、公民館事業として実施するものです。自主グループが日頃の活動で培った知恵やノウハウを生かして市民にさまざまな学習機会を提供し、地域を豊かにすることが目的です。